

Excel 出力設定

1. Excel 出力	2
1-1. Expage ランタイム概要	2
1-2. Excel バージョン	2
1-3. Excel ブック	2
1-4. Excel 機能制限	2
1-5. 資源ファイル作成と実行手順	2
① Excel テンプレートの用意	2
② ジョブの新規作成	3
③ マッピング	4
④ テスト実行	5
2. Excel テンプレート	7
2-1. 変数定義：セルの文字列	7
2-2. 変数定義：セルの文字列（リスト形式出力）	9
2-3. 変数定義：図形内の文字列	15
2-3. 変数定義：画像	16
2-5. 変数定義：グラフ	17
2-6. 変数定義：テーブル	20
2-7. 変数定義：シート名	33
2-8. Excel テンプレートの制限	36
3. 帳票種別	37
3-1. 改ページ	37
3-1-1. 概要	37
3-1-2. 改ページの設定方法	38
3-2. マルチフォーム	39
① Excel テンプレートの確認	40
② 資源ファイルの新規作成	41
③ 1つ目のユニットのマッピング	41
④ ジョブユニットの追加	41
⑤ 2つ目のユニットのマッピング	42
⑥ 実行確認	42
3-3. マルチデータソース	44
4. Excel プロパティ設定	45
4-1. 概要	45
4-2. 設定方法	46

1. Excel 出力

1-1. Expage ランタイム概要

Expage ランタイムは、Excel で設計した帳票テンプレートに、データソースから取得したデータをテンプレート上に定義した変数に設定して、Excel ファイルを出力するランタイム製品です。

1-2. Excel バージョン

帳票テンプレートとして使用できる Excel は以下のバージョンで作成されたものに限りません。

Microsoft Excel 2010/2013/2016/2019

※ Microsoft Office 365、Microsoft Office Mobile は動作保証外です。

1-3. Excel ブック

帳票テンプレートとして使用できる Excel は、以下のものに限りません。

拡張子が .xlsx / .xlsm の Excel ブック

1-4. Excel 機能制限

帳票テンプレート内で使用できる Excel の機能は以下の通りです。

セル

図形

画像

グラフ

テーブル

これらの機能は、変数として定義することで、データソースから取得したデータを出力することができます。変数の定義方法は「2. Excel テンプレート」をご覧ください。

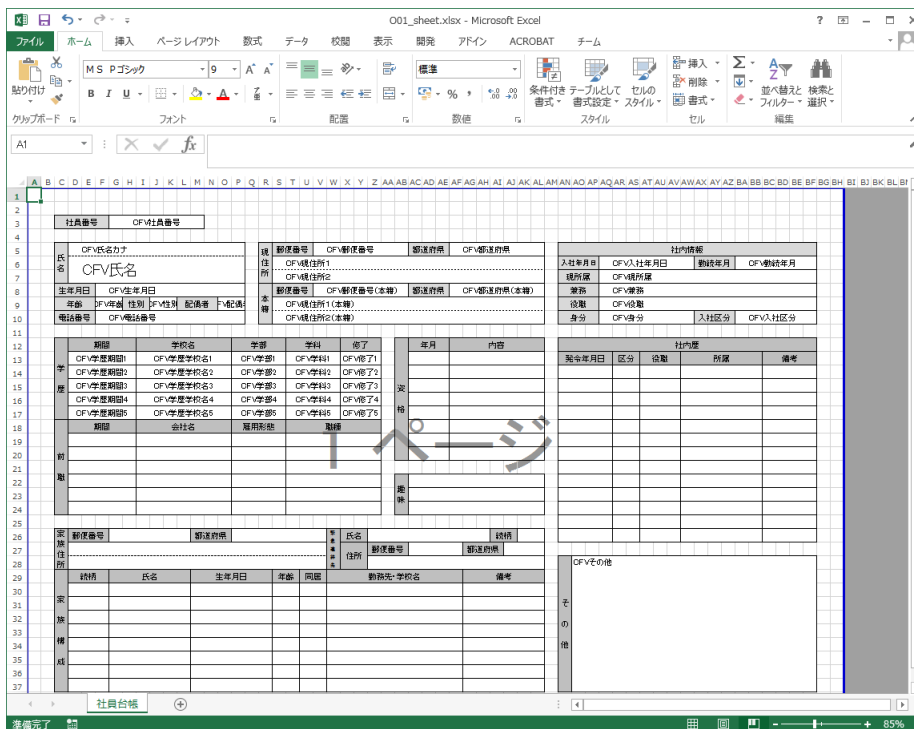
1-5. 資源ファイル作成と実行手順

Expage ランタイムでは、Expage ランタイム用に資源ファイルを作成する必要があります。作成手順は以下の通りです。（完成版の資源ファイルは、“帳票資源フォルダー ¥sample¥15_Excel 帳票”に保存されています。）

① Excel テンプレートの用意

Excel ファイルに帳票テンプレートとなるシートを作成します。

図：Excel シート上での帳票設計



変数の定義方法は「2. Excel テンプレート」をご覧ください。

作成した Excel ファイルは、作業ディレクトリ内の form フォルダー内に配置してください。

②ジョブの新規作成

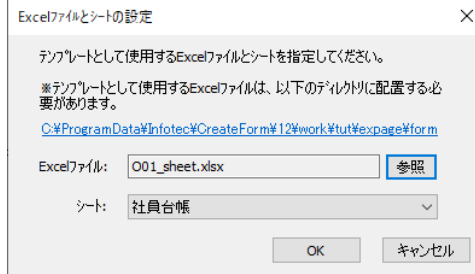
マネージャーのツールボタン [新規作成] をクリックして、ジョブの新規作成ダイアログを開きます。

図：ジョブの新規作成ダイアログ

[帳票名]、[ジョブファイル名] を入力します。

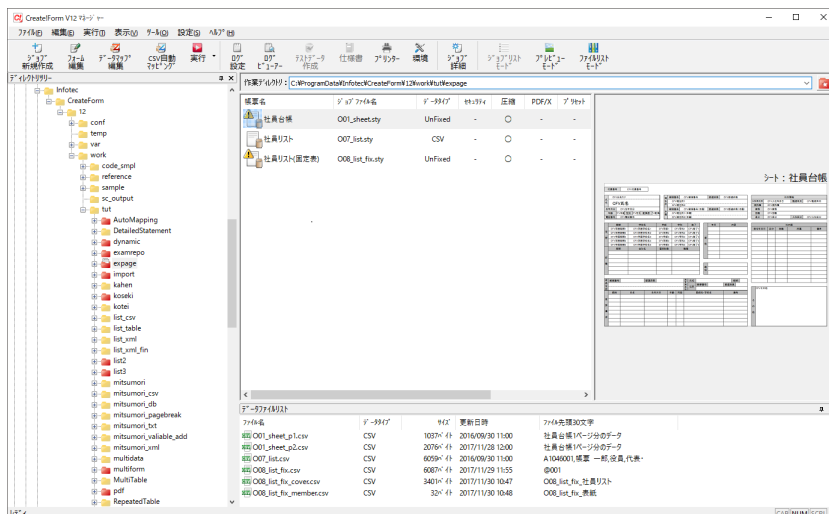
[フォームタイプ] で [Excel テンプレート] を選択して、[OK] ボタンをクリックすると、「Excel ファイルとシートの設定」ダイアログが起動します。

図：Excel ファイルとシートの設定ダイアログ



テンプレートとして使用する Excel ファイルを、[Excel ファイル] に設定します。[シート] 欄に Excel ファイル内のシート名が一覧表示されますので、テンプレートとして使用するシートを選択します。[OK] ボタンをクリックすると、マネージャー上に作成された資源ファイルが表示されます。

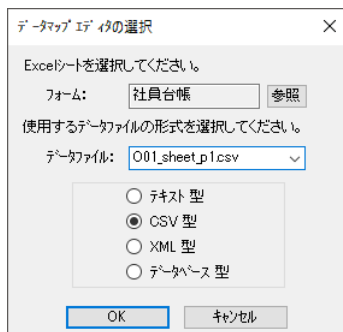
図：マネージャー - ジョブ新規作成後



③ マッピング

マネージャー上のジョブとデータファイルリストの”001_sheet_p1.csv” が選択された状態で、ツールボタン [データマップ編集] をクリックします。

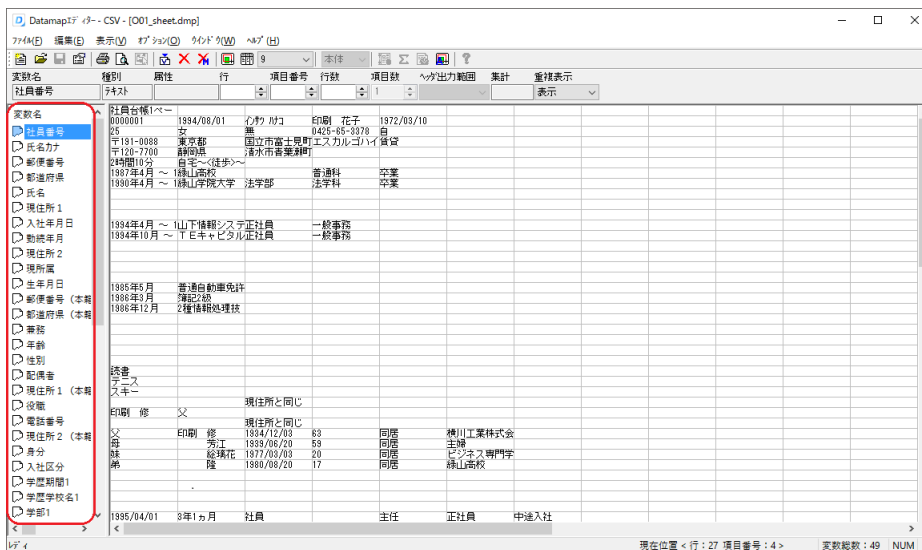
図：データマップエディターの選択ダイアログ



[フォームファイル]と[データファイル]が設定されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックしてください。

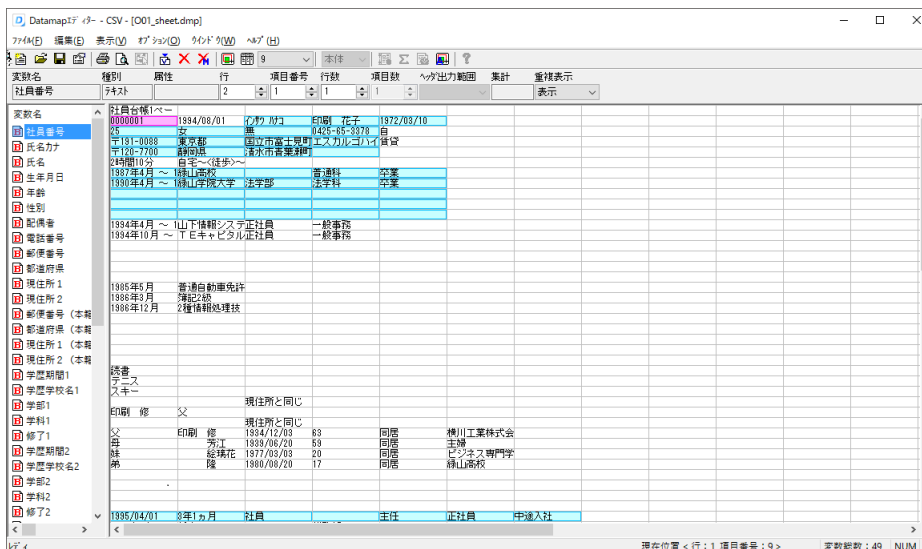
データマップエディターが起動し、[変数名] リストに Excel シートに定義した変数名が表示されます。

図：データマップエディター



変数を出力したいデータにマッピングします。マッピング方法は、「データマップエディターの操作」をご覧ください。

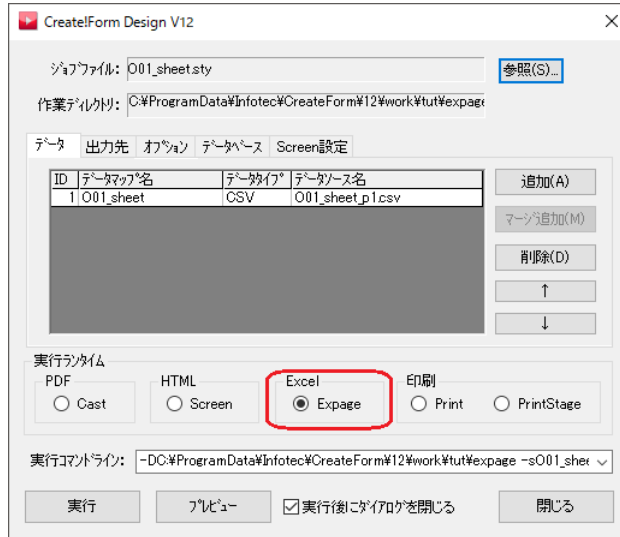
図：データマップエディター - マッピング後



④ テスト実行

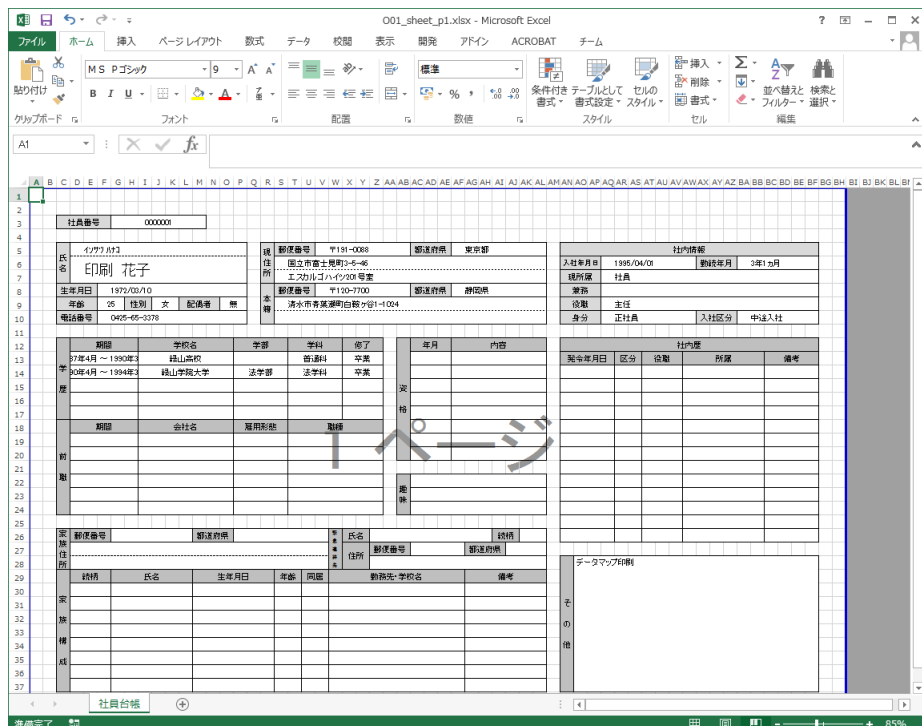
マネージャー上のジョブとデータファイルを選択した状態で、ツールボタン[実行]をクリックすると、実行ダイアログが起動します。

図：実行ダイアログ



[実行ランタイム]の[Expage]を選択して、[プレビュー]ボタンをクリックします。
Excel が起動し、出力された帳票が表示されます。

図：出力結果



<< 注意 >>

Expage ランタイム用に作成した資源ファイル（ジョブの新規作成ダイアログで [フォームタイプ] を [Excel テンプレート] に設定した資源ファイル）は、他のランタイムで使用することはできません。また、ジョブの新規作成ダイアログで [フォームタイプ] を [フォームファイル] に設定した資源ファイルは、Expage ランタイムでは使用できません。

2. Excel テンプレート

Expage ランタイム用の帳票設計は、Excel ファイルのシート上で行います。テンプレートとして使用するシート内には、以下の Excel 機能を Expage の変数として扱うことができます。

- セル
- 図形
- 画像
- グラフ
- テーブル

各機能を変数として定義する方法は以下の通りです。

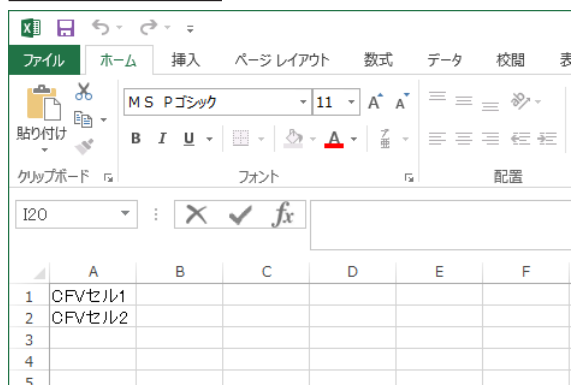
2-1. 変数定義：セルの文字列

Excel テンプレート上のセルに、入力データから取得した文字列を出力することができます。セルを変数として定義するには、文字列として

CFV 変数名

を設定してください。(固定文字列「CFV」の後に変数名を続けます。)

図：セルの変数定義例

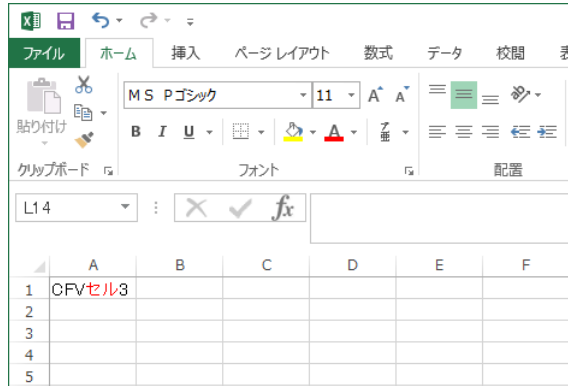


上の図では、「セル1」「セル2」という2つの変数が定義されます。

セル変数に設定されたフォントやカラーなどの書式設定は、そのまま出力されます。

ただし、セル内の文字列の一部のみ書式を変更した場合には、変数として扱うことはできません。

図：一部の文字に対して書式を変更した例



上図では、「セル」の部分だけフォント色を変更しているため、変数と判断されません。

■複数行マッピング

セル変数に複数行のマッピングデータを出力する場合は、Excel テンプレート上のセルの書式設定で「折り返して全体を表示する」を設定してください。

図：セルの書式設定ダイアログ (Excel2013 の例)



■表示形式

- セル変数に表示形式（数値や通貨など）を設定することは可能です。ただし、日付または時刻を設定する場合は、入力データをシリアル値にする必要があります。

- マッピングしたデータをもとにグラフや小計付きテーブルを出力する場合、セルの表示形式を数値に設定してください。

2-2. 変数定義：セルの文字列（リスト形式出力）

セル変数に複数行マッピングした際、リスト形式出力に設定すると、変数定義したセル内に全行分のデータを出力するのではなく、1行分のデータを1つのセルに出力し、次行分のデータは1つ下のセルに出力するというように、マッピング行数分繰り返して出力することが可能です。

■リスト形式出力設定方法

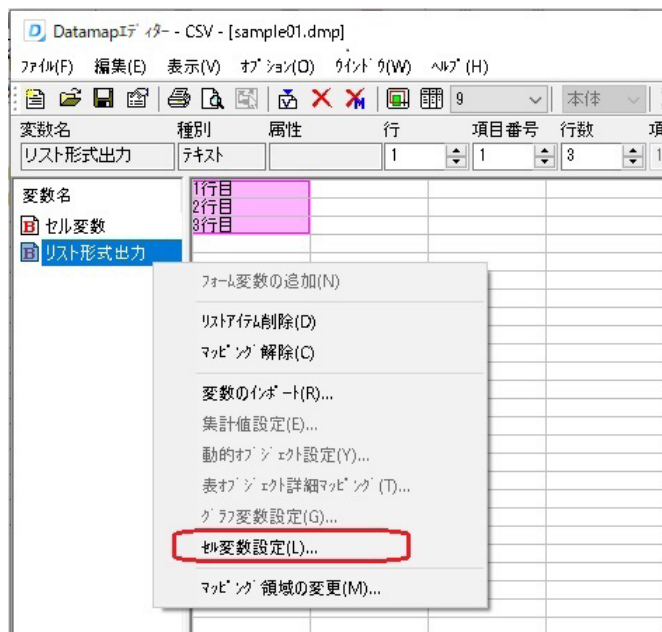
Excel テンプレート上でセル変数を定義します。

図：Excel テンプレート上でのセルの変数定義

	A	B	C	D	E	F
1		リスト形式出力：OFF		リスト形式出力：ON		
2		CFVセル変数		CFVリスト形式出力		
3						
4						
5						
6						

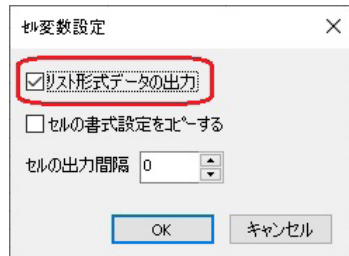
データマップエディタにてセル変数に複数行をマッピングします。セル変数を選択した状態で右クリックメニューの「セル変数設定」をクリックします。

図：データマップエディタ上の「セル変数設定」メニュー



「セル変数設定」ダイアログが起動しますので、「リスト形式データの出力」にチェックを入れます。

図：「セル変数設定」ダイアログ－リスト形式出力



Expage ランタイムを実行すると、リスト形式出力を設定しない場合はマッピングした行数分のデータが1つのセル内に出力されますが、リスト形式出力を設定した場合にはマッピングした行数分のセルに入力データが1行ずつ出力されます。

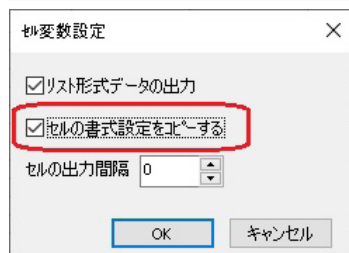
図：リスト形式出力の出力結果

	A	B	C	D	E	F
1		リスト形式出力：OFF		リスト形式出力：ON		
2		1行目 2行目 3行目		1行目		
3				2行目		
4				3行目		
5						
6						

■書式コピー

Excel テンプレート上でセル変数に設定した書式を、2行目以降のセルにも適用したい場合は、「セル変数設定」ダイアログで「セルの書式設定をコピーする」にチェックを入れてください。

図：「セル変数設定」ダイアログ－書式コピー



書式コピーでは Excel テンプレート上のセル変数に設定した以下の設定がコピーされます。

- ・表示形式 (Excel [セルの書式設定] ダイアログの [表示形式] タブで設定する項目)
- ・配置 (Excel [セルの書式設定] ダイアログの [配置] タブで設定する項目)
- ・フォント (Excel [セルの書式設定] ダイアログの [フォント] タブで設定する項目)
- ・罫線 (Excel [セルの書式設定] ダイアログの [罫線] タブで設定する項目)
- ・塗りつぶし (Excel [セルの書式設定] ダイアログの [塗りつぶし] タブで設定する項目)

図 : Excel テンプレート上での定義 (書式コピー)

	A	B	C	D	E
1					
2		製品番号	品名	金額	
3		CFV製品番号	CFV品名	CFV金額	
4					
5					
6					
7					
8					

セル変数「製品番号」「品名」「金額」をリスト形式出力に設定し、書式コピーを ON にした場合は以下のように出力されます。

図 : Expage ランタイムの出力結果 (書式コピー)

	A	B	C	D	E
1					
2		製品番号	品名	金額	
3		A0001	AAA	1,000	
4		A0002	BBB	300	
5		A0003	CCC	1,500	
6		A0004	DDD	700	
7		A0005	EEE	1,200	
8					

■結合セルのリスト形式出力

複数のセルが結合されたセルをリスト形式出力に設定することも可能です。その場合、2行目以降のセルもセル変数と同じサイズに結合されて出力されます。

図 : Excel テンプレート上での定義 (結合されたセル)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1																	
2		製品番号	品名		金額												
3		CFV製品番号	CFV品名		CFV金額												
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

セル変数「製品番号」「品名」「金額」をリスト形式出力に設定し、書式コピーをONにした場合は以下のように出力されます。

図：Expage ランタイムの出力結果（結合されたセル）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1																	
2																	
3			製品番号			品名					金額						
4			A0001			AAA										1,000	
5																	
6			A0002			BBB										300	
7																	
8			A0003			CCC										1,500	
9																	
10			A0004			DDD										700	
11																	
12			A0005			EEE										1,200	
13																	
14																	

■出力間隔

リスト形式出力で2行目以降のセルを、間隔を空けて出力する場合には、「セル変数設定」ダイアログで「セルの出力間隔」に1以上の数値を設定してください。

図：「セル変数設定」ダイアログー出力間隔

「セルの出力間隔」を1に設定した場合は、1行間隔を空けて2行目以降のデータが出力されます。

以下の例ではセル変数「品名」「単価」「個数」「金額」の出力間隔を1に設定することで、表の形を保ったまま出力することができます。

図：Excel テンプレート上での定義（出力間隔）

	A	B	C	D	E	F
1						
2						
3		製品番号	品名			
4			単価	個数	金額	
5		CFV製品番号	CFV品名			
6			CFV単価	CFV個数	CFV金額	
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						

図：Expage ランタイムの出力結果（出力間隔）

	A	B	C	D	E	F
1						
2		製品番号	品名			
3			単価	個数	金額	
4		A0001	AAA			
5			100	10	1,000	
6		A0002	BBB			
7			50	6	300	
8		A0003	CCC			
9			300	5	1,500	
10		A0004	DDD			
11			350	2	700	
12		A0005	EEE			
13			200	6	1,200	
14						

■リスト形式出力による上書き

リスト形式出力による出力先のセルに固定の文字列が設定されている場合は、入力データで上書きされます。また、書式コピーが設定されている場合、出力先のセルの書式は変更されます。

図：Excel テンプレート上での定義（文字列と書式の上書き）

	A	B	C	D	E
1					
2		製品番号	品名	金額	
3		CFV製品番号	CFV品名	CFV金額	
4		製品番号1	品名1	金額1	
5		製品番号2	品名2	金額2	
6		製品番号3	品名3	金額3	
7		製品番号4	品名4	金額4	
8					

セル変数「製品番号」「品名」「金額」をリスト形式出力に設定し、書式コピーをONにした場合は以下のように文字列と書式が上書きされて出力されます。

図：Expage ランタイムの出力結果（文字列と書式の上書き）

	A	B	C	D	E
1					
2		製品番号	品名	金額	
3		A0001	AAA	1,000	
4		A0002	BBB	300	
5		A0003	CCC	1,500	
6		A0004	DDD	700	
7		A0005	EEE	1,200	
8					

なお、表の外枠のみ線種を変えたり、行ごとに背景色を切り替えたい場合には、書式コピーを使用せずに、Excel テンプレート上で書式をデザインしてください。

図：Excel テンプレート上での定義（文字列のみ上書き）

	A	B	C	D	E
1					
2		製品番号	品名	金額	
3		CFV製品番号	CFV品名	CFV金額	
4		製品番号1	品名1	1,000	
5		製品番号2	品名2	1,000	
6		製品番号3	品名3	1,000	
7		製品番号4	品名4	1,000	
8					

セル変数「製品番号」「品名」「金額」をリスト形式出力に設定し、書式コピーをOFFにした場合は、以下のように表のデザインが保たれたまま出力されます。

図：Expage ランタイムの出力結果（文字列のみ上書き）

	A	B	C	D	E
1					
2		製品番号	品名	金額	
3		A0001	AAA	1,000	
4		A0002	BBB	300	
5		A0003	CCC	1,500	
6		A0004	DDD	700	
7		A0005	EEE	1,200	
8					

■制限事項

Excel テンプレート上で、2行目以降のリスト形式出力先に、以下のオブジェクトが定義されている場合は、Expage ランタイムのエラーとなります。

- ・セル変数とは異なるサイズの結合セル

リスト形式出力の2行目以降の出力先セルに、セル変数とは異なるサイズの結合セルが定義されている場合、結合の解除や入力データでの上書きはされずに、Expage ランタイムエラーとなります。

図：Excel テンプレート上での定義（エラー：異なるサイズの結合セル）

	A	B	C	D	E
1					
2		製品番号	品名	金額	
3		CFV製品番号	CFV品名	CFV金額	
4					
5		結合セル			
6					
7					

- ・ 他の変数

リスト形式出力の2行目以降の出力先セルに、セル変数、グラフ変数のデータ領域、テーブル変数が定義されている場合、入力データで上書きはされずに、Expage ランタイムエラーとなります。

図：Excel テンプレート上での定義（エラー：他のセル変数）

	A	B	C	D	E
1					
2		製品番号	品名	金額	
3		CFV製品番号	CFV品名	CFV金額	
4					
5		CFV他のセル変数			
6					
7					

- ・ 計算や集計などの Excel 関数が定義されたセル

リスト形式出力の2行目以降の出力先セルに、計算やExcel 関数など「=」から始まる式が設定されている場合、入力データで上書きはされずに、Expage ランタイムエラーとなります。

図：Excel テンプレート上での定義（エラー：計算が定義されたセル）

	A	B	C	D	E
1					
2		製品番号	品名	金額	
3		CFV製品番号	CFV品名	CFV金額	
4					
5		=B4+C4			
6					
7					

2-3. 変数定義：図形内の文字列

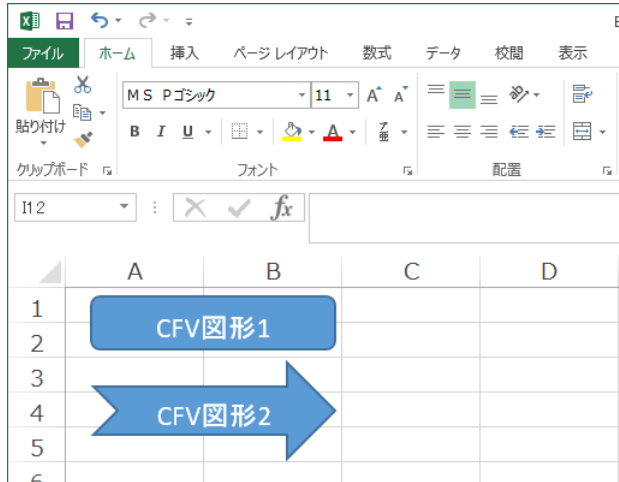
Excel テンプレート上の図形内の文字列に、入力データから取得した文字列を出力することができます。

図形内の文字列を変数として定義するには、文字列として

CFV 変数名

を設定してください。（固定文字列「CFV」の後に変数名を続けます。）

図：図形文字列の変数定義例



上の図では、「図形 1」「図形 2」という 2 つの変数が定義されます。

<< 注意 >>

Expage ランタイムの出力では、図形のサイズは変更されません。入力データ量によっては、図形内に収まらない場合があります。

2-3. 変数定義：画像

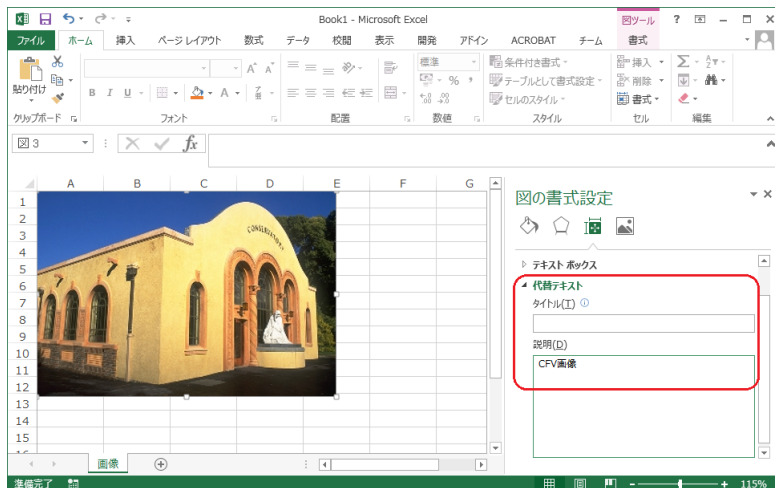
Excel テンプレート上の画像を、入力データで指定した画像ファイルに置き換えて出力することができます。

画像を変数として定義するには、図形の書式設定で代替テキスト（Excel 2013 以降の場合、説明欄）に

CFV 変数名

を設定してください。（固定文字列「CFV」の後に変数名を続けます。）

図：画像の変数定義例（Excel 2013 の例）



■画像変数で出力可能な画像種別

画像変数で出力可能なフォーマットは以下の通りです。

- ・ BMP ファイル
- ・ TIFF ファイル
- ・ JPEG ファイル

なお、入力データによって指定する画像ファイルのフォーマットは、Excel テンプレート上で配置する画像ファイルと同じフォーマットのみ可能です。

■画像の書式設定の制限

Excel テンプレートの画像変数に設定された書式は、そのまま出力されます。

ただし、以下の設定をした画像は変数として出力できません。

- ・ アート効果
- ・ 図の修正（シャープネス、明るさ、コントラスト）
- ・ 図の色（彩度、トーン）
- ・ 透明色を指定

2-5. 変数定義：グラフ

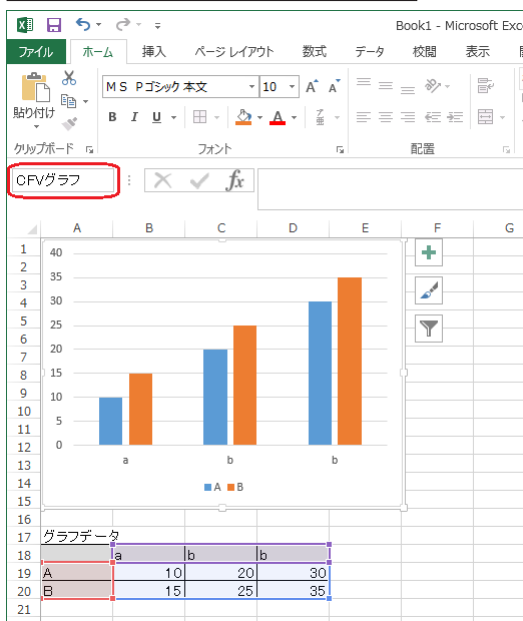
Excel テンプレート上のグラフデータに、入力データから取得したデータを出力し、グラフ描画へ反映させることができます。

グラフを変数として定義するには、名前ボックスに

CFV 変数名

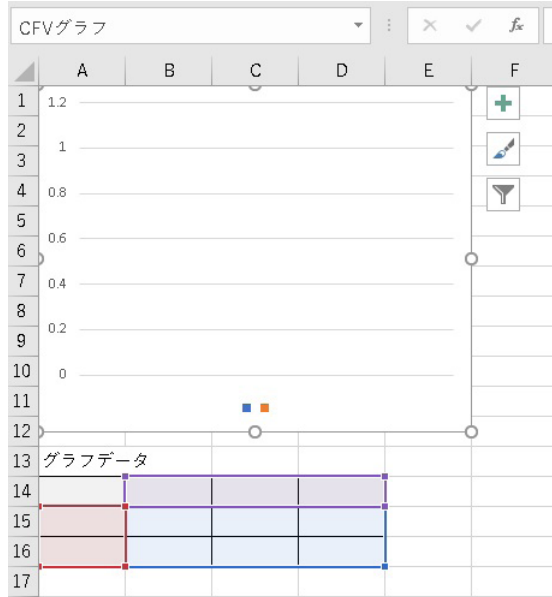
を設定してください。（固定文字列「CFV」の後に変数名を続けます。）

図：グラフの変数定義例（Excel2013 の例）



Excel テンプレート上では、グラフ変数のデータ範囲内のセルにサンプルとなる文字列または数値を設定することが可能です。また、Excel テンプレート上では、グラフ変数のデータ範囲内のセルを空の状態にしておくことも可能です。Expage ランタイムの出力時には、マッピングされた入力データが出力されます。

図：グラフの変数定義例（グラフデータが空の場合）



■グラフのデータ範囲

グラフに使用できるデータは、同一シート内のみに限ります。

■グラフのマッピングデータ

グラフ変数にはマッピングされた入力データが、グラフのデータ範囲セルに出力され、その値がグラフに反映されます。

なお、グラフの凡例と項目を入力データから取得したい場合には、凡例と項目も含めてグラフ変数としてマッピングしてください。

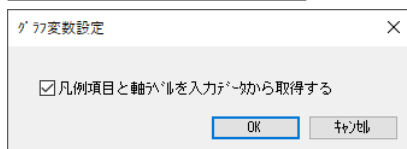
図：グラフの凡例と項目を含めてマッピング

The screenshot shows the Datamap Editor interface. The main window displays a table with columns for '変数名' (Variable Name), '種別' (Type), '属性' (Attribute), '行' (Row), '項目番号' (Item Number), '行数' (Row Count), and '項目数' (Item Count). The 'グラフ' (Graph) variable is selected, and its mapping table is shown below.

変数名	種別	属性	行	項目番号	行数	項目数
グラフ	グラフ		1	1	3	4
変数名			1月	2月	3月	
			りんご	150	250	350
			みかん	120	240	380

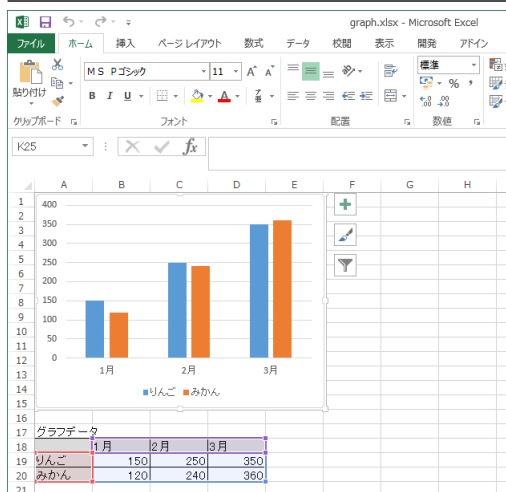
また、凡例と項目を含めてマッピングする場合には、グラフ変数を選択した状態で右クリックメニューの [グラフ変数設定] をクリックします。グラフ変数設定ダイアログが起動しますので、[凡例項目と軸ラベルを入力データから取得する] にチェックを入れてください。

図：グラフ変数設定ダイアログ



以下のような出力結果になります。

図：グラフの凡例と項目を入力データから取得した場合の出力結果



<< 注意 >>

グラフ変数が参照するセルに関数(数式)が設定されている場合、そのセルに対してデータマップエディターによるマッピングはできません。

■ 制限事項

下記のグラフ種別は使用できません。

- ・ ツリーマップ
- ・ サンバースト
- ・ ヒストグラム
- ・ ウォーターフォール

2-6. 変数定義：テーブル

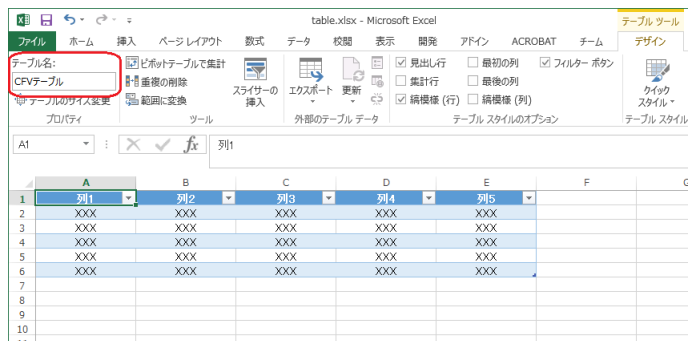
Excel テンプレート上のテーブルに、入力データから取得したデータを出力することができません。また、入力データ量に応じて、テーブルサイズを伸長することもできます。

テーブルを変数として定義するには、テーブル名に

CFV 変数名

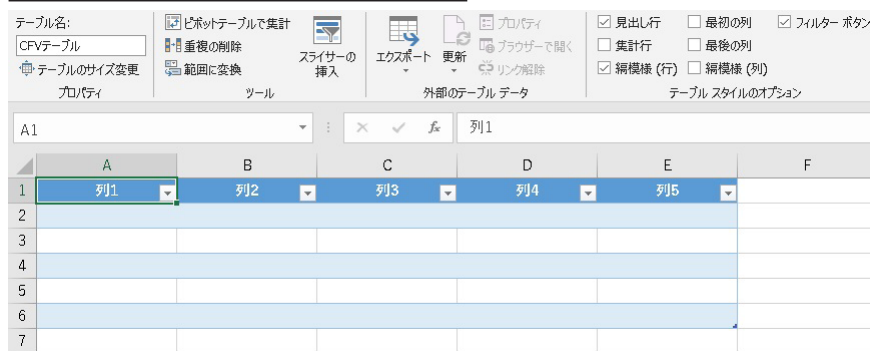
を設定してください。(固定文字列「CFV」の後に変数名を続けます。)

図：テーブルの変数定義例 (Excel 2013 の例)



Excel テンプレート上では、テーブル変数内のセルにサンプルとなる文字列または数値を設定することが可能です。また、Excel テンプレート上では、テーブル変数内のセルを空の状態にしておくことも可能です。Expage ランタイムの出力時には、マッピングされた入力データが出力されます。

図：テーブルの変数定義例 (データが空の場合)



なお、集計の対象となるセルに対しては、サンプルデータとして数値を入力するか、書式設定の表示形式を「数値」に設定してください。

図：テーブルの変数定義例（集計対象セルに数値を設定）

	A	B	C	D	E	F
1	列1	列2	列3	列4	列5	
2	XXX	XXX	XXX	XXX	10	集計対象セルに 数値を設定
3	XXX	XXX	XXX	XXX	10	
4	XXX	XXX	XXX	XXX	10	
5	XXX	XXX	XXX	XXX	10	
6	XXX	XXX	XXX	XXX	10	
7	集計				50	列5の集計を設定

図：テーブルの変数定義例（集計対象セルの書式を数値に設定）

	A	B	C	D	E	F
1	列1	列2	列3	列4	列5	
2						集計対象セルの 書式を数値に設定
3						
4						
5						
6						
7	集計				0	列5の集計を設定

■ テーブルのマッピングデータ

テーブル変数にはデータ行と見出し行に入力データを出力することができます。

図：テーブルの見出し行を含めてマッピング

変数名	見出し1	見出し2	見出し3	見出し4	見出し5
データ1	データ1	データ2	データ3	データ4	データ5
データ2	データ1	データ2	データ3	データ4	データ5
データ3	データ1	データ2	データ3	データ4	データ5
データ4	データ1	データ2	データ3	データ4	データ5
データ5	データ1	データ2	データ3	データ4	データ5

見出し行を含めてマッピングする場合には、テーブル変数を選択した状態で右クリックメニューの [表オブジェクト詳細マッピング] をクリックします。表オブジェクト詳細マッピングダイアログが起動しますので、[先頭行を見出しに使用] にチェックを入れてください。

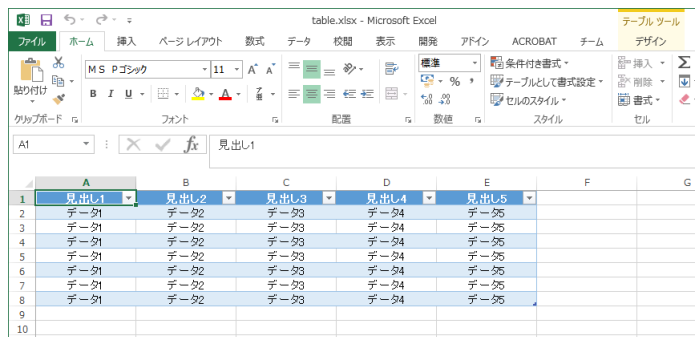
図：表オブジェクト詳細マッピングダイアログ



[先頭行を見出しに使用] を設定することで、テーブル変数にマッピングしたデータの1行目を見出し行に出力することができます。

出力結果は以下の様になります。

図：テーブルの見出し行を入力データから取得した場合の出力結果

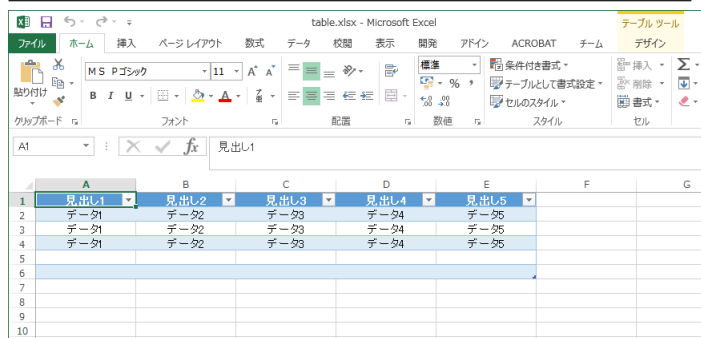


■テーブルの最小サイズ

テーブル変数は、入力データの行数によってテーブルサイズが下方方向に伸長します。

ただし、Excel テンプレート上で定義したテーブルサイズよりも入力データ行数が少ない場合には、テーブルサイズが小さくなることはなく、空の行として出力されます。

図：テーブルの定義サイズより入力データ行数が少ない場合の出力結果



■テーブル変数の下のオブジェクト配置

テーブル変数は入力データ行数に応じて下方方向に伸長します。その際、Excel テンプレート上でテーブル変数の下に配置されたオブジェクトもテーブル伸長分だけ下方方向にずれて出力されます。テーブル変数の下に配置できるオブジェクトは以下の通りです。

- ・セル（結合されたセルも含まます）
- ・図形
- ・画像
- ・グラフ
- ・テーブル

いずれも、変数として扱うことも可能です。

なお、以下はテーブル変数の下で利用することはできません。

- ・フィルタ（テーブル変数内では使用可能です）

以下の図は、テーブル変数の下に、セル変数や図形（四角形）などを配置した Excel テンプレートです。

図：Excel テンプレート上での定義（テーブル変数の下のオブジェクト）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	旅費概算・精算請求書												
2	提出日	CFV提出日			所属	CFV所属			部長	課長	担当		
3	出張地	CFV出張地			等級	CFV等級							
4	用件	CFV用件			氏名	CFV氏名							
5	内渡金	CFV内渡金											
7	月日	出発地	経由 (利用交通機関)	到着地	乗車船賃	特急・急行 指定料金等	航空賃	その他 (タクシー・バス)	宿泊料	日当	合計		
8	XX/XX	XXX	XXX	XXX	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	6,000		
9				合計	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	6,000		
11	旅費概算	概算私受取額(75%)	内渡金	CFV内渡金	旅費精算額	不足金受取り #VALUE!	CFV受領日	左記のとおり、旅費概算金内渡金を受領致しました。					○印
12		¥6,000				過払戻金 #VALUE!	CFV返還日	左記のとおり、旅費概算受領返還致しました。					○印
16	テーブル変数の下に配置したオブジェクト												

Expage ランタイムを実行し、テーブル変数が伸長すると、テーブル変数の下に配置したオブジェクトもその分下にずれて出力されます。

図：Expage ランタイムの出力結果（テーブル変数の下のオブジェクト）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	旅費概算・精算請求書												
2	提出日	2021/08/31			所属	営業第二グループ			部長	課長	担当		
3	出張地	北海道札幌市			等級	特等							
4	用件	製品説明会、その他			氏名	東京 花子							
5	内渡金	¥100,000											
7	月日	出発地	経由 (利用交通機関)	到着地	乗車船賃	特急・急行 指定料金等	航空賃	その他 (タクシー・バス)	宿泊料	日当	合計		
8	2021/08/01	新宿	羽田(飛行機)	札幌	1,671	0	10,190	0	9,800	10,000	31,661		
9	2021/08/02	札幌	羽田(飛行機)	新宿	1,671	0	10,190	0	0	10,000	21,861		
10	2021/08/03	新宿	羽田(飛行機)	札幌	1,671	0	10,190	0	9,800	10,000	31,661		
11	2021/08/04	札幌	羽田(飛行機)	新宿	1,671	0	10,190	0	0	10,000	21,861		
12				合計	6,684	0	40,760	0	19,600	40,000	107,044		
14	旅費概算	概算私受取額(75%)	内渡金	¥100,000	旅費精算額	不足金受取り ¥7,044	2021/08/31	左記のとおり、旅費概算金内渡金を受領致しました。					○印
15		¥107,044				過払戻金 ¥0	2021/08/31	左記のとおり、旅費概算受領返還致しました。					○印

《注意》

テーブル変数の横にはオブジェクトを配置することはできません。入力データ行数に応じてテーブルサイズが伸長した際、テーブル変数の横に配置されたオブジェクトは行の挿入によってデザインが崩れる可能性があります。

■テーブル変数の下の数式対象セル配置

Excel の数式にテーブル変数の下のセルが含まれる場合、テーブル伸長によって下方向にずれた分、数式中のセル名も更新して出力されます。

図：Excel テンプレート上での定義（テーブル変数下の数式対象セル）

	A	B	C	D	E
1					
2		列1	列2	列3	
3		xxx	xxx	xxx	
4					
5		値1	値2	数式	
6		10	20	=B6+C6	
7					

上図では Excel テンプレート上の D6 セルに B6、C6 セルを対象とした数式が設定されています。テーブル変数の伸長によって 2 行下方向にずれた場合には、下図のように、数式も 2 行ずれたセル名に更新されて出力されます。

図：Expage ランタイムの出力結果（テーブル変数下の数式対象セル）

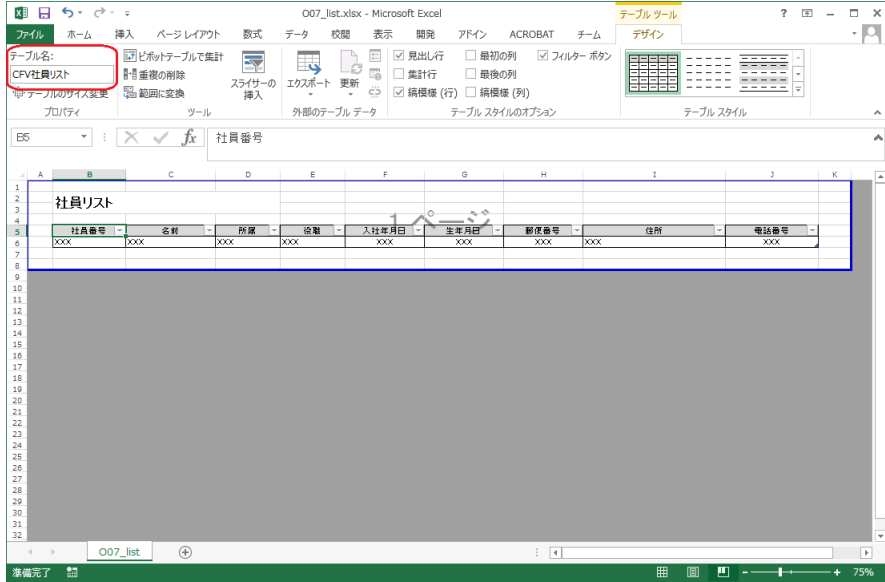
	A	B	C	D	E
1					
2		列1	列2	列3	
3		xxx	xxx	xxx	
4		xxx	xxx	xxx	
5		xxx	xxx	xxx	
6					
7		値1	値2	数式	
8		10	20	=B8+C8	
9					

■テーブル変数使用時の印刷範囲

テーブル変数が入力データ量に応じて伸長した場合、シートの印刷範囲も追加行数分だけ広がります。

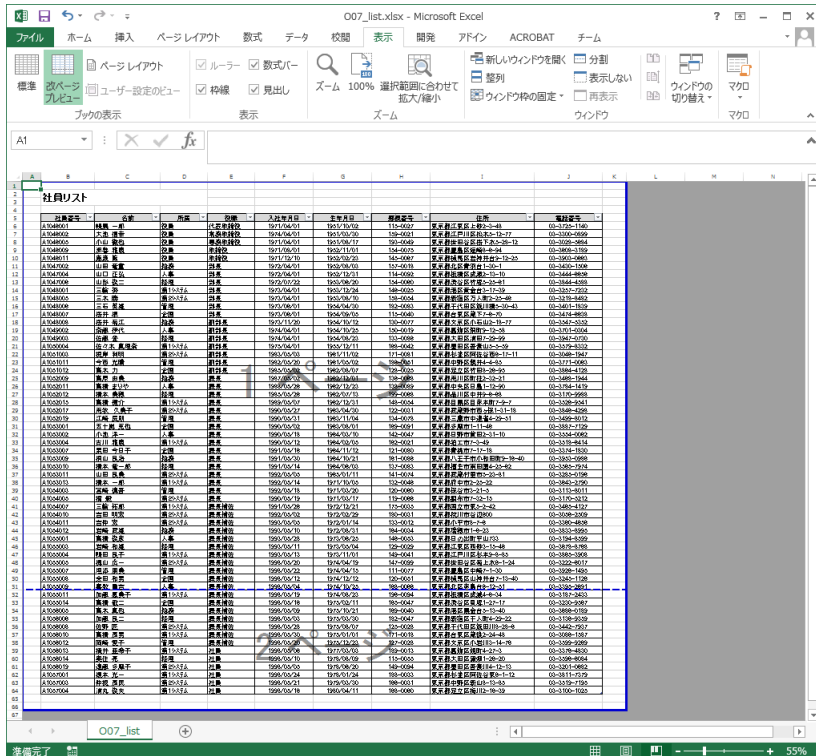
次ページの図のように Excel テンプレートにテーブル変数を定義し、印刷領域を設定します。

図：印刷領域の設定



入力データ量に応じてテーブルが伸長した場合の出力結果は以下のようになります。

図：印刷領域の拡張



(完成版の資源ファイルは、“帳票資源フォルダ ¥sample¥15_Excel 帳票”に保存されています。)

■テーブル変数における関数の設定方法

Excel テンプレートのテーブル変数に関数を設定することによって、出力ファイルのテーブルでも関数を使用することができます。

Excel テンプレートに関数のオートコレクトを有効にした状態で関数を設定する、または同じ行のセルを参照する関数を設定し Expage ランタイムを実行した場合、テーブル変数の伸長によって追加された行には、追加行数に応じて参照するセルが更新された関数が設定されます。

図：オートコレクト有効時の出力結果

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		単価	個数	合計金額		D列に設定している関数	
3		100	5	=B3*C3			=B3*C3
4		150	10	1500			=B4*C4
5		200	10	2000			=B5*C5
6		300	5	1500			=B6*C6
7		250	10	2500			=B7*C7
8							

図：同一行セル参照時の出力結果

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		単価	個数	合計金額		D列に設定している関数		
3		100	5]=[@単価]*[@個数]				=[@単価]*[@個数]
4		150	10	1500				=[@単価]*[@個数]
5		200	10	2000				=[@単価]*[@個数]
6		300	5	1500				=[@単価]*[@個数]
7		250	10	2500				=[@単価]*[@個数]
8								

関数のオートコレクト無効、または行ごとに異なる関数を設定し Expage ランタイムを実行した場合、テーブル変数の伸長によって追加された行には、1 行目の関数で参照しているセルと同じセルを参照する関数が設定されます。

図：オートコレクト無効時の出力結果

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		単価	個数	合計金額	D列に設定している関数			
3		100	5	500	=B3*C3			
4		150	10	2000	=B3*C3+D3			
5		200	10	4500	=B3*C3+D3+D4			
6		300	5	500	=B3*C3			追加行
7		250	10	500	=B3*C3			
8								

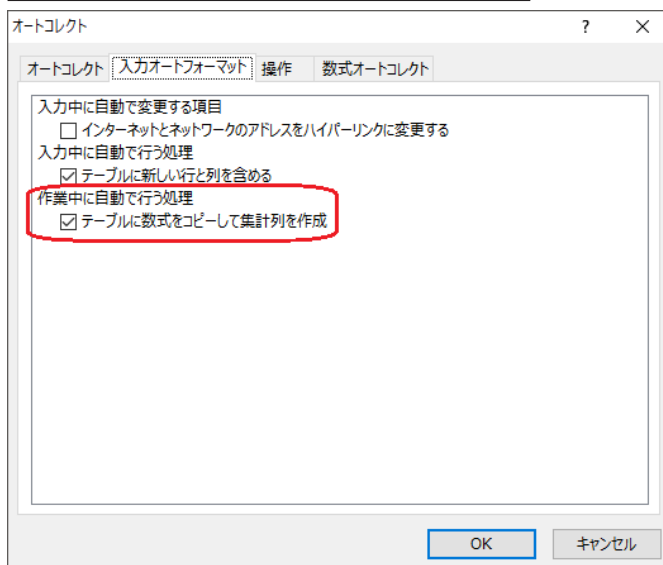
追加行数に応じて数式内で参照するセルが変化する関数を使用する場合は、関数のオートコレクトを有効にした状態で関数を設定、または同じ行のセルを参照する関数を設定してください。

<<Tips>>

関数のオートコレクトを有効にするには、

[Excel のメニュー]-[ファイル]-[オプション]-[文章校正]-[オートコレクトのオプション]-[入力オートフォーマット]-[作業中に自動で行う処理]-[テーブル変数に数式をコピーして集計列を作成]にチェックを入れてください。

図：Excel オートコレクト設定画面 (Excel2013 の例)

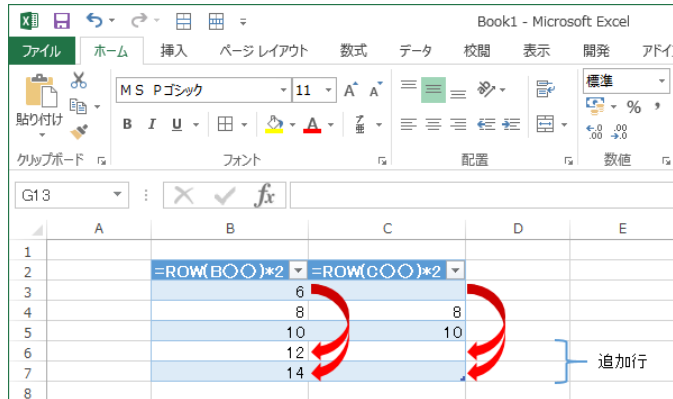


■テーブル変数における数式の制限

テーブル変数における数式の使用には、以下の制限があります。

- ・ テーブル変数が入力データ量に応じて伸長した場合、追加された行にはテーブル変数の1行目の数式が設定されます。テーブル変数の1行目に数式が設定されていない場合、追加された行に数式は設定されません。

図：テーブル伸長時、1行目の数式を設定



- ・ テーブル変数の数式が設定された列にデータマップエディターによって入力データをマッピングした場合、出力ファイルのテーブルには入力データではなく数式が設定されます。入力データを出力したい場合は、Excel テンプレートの該当列から数式を削除してください。

- ・ テーブル変数の定義行数が1行の場合、Excel のオートコレクトは有効となりません。そのため、下図の様にセル名を用いて数式を設定すると、テーブル伸長による追加行で期待通りの計算が行われません。

図：Excel テンプレート上での定義（セル名を用いた数式設定）

	A	B	C	D	E
1					
2		列1	列2	列3	
3		10	20	=B3+C3	
4					

数式を設定する際には、下図の様にセル名ではなく列名を用いてください。

図：Excel テンプレート上での定義（列名を用いた数式設定）

	A	B	C	D	E
1					
2		列1	列2	列3	
3		10	20	=[@列1]+[@列2]	
4					

- ・テーブル変数内の数式に、セル名と列名が混在する場合、オートコレクトは有効となりません。そのため、下図の様にセル名と列名が混在する数式を設定すると、テーブル伸長による追加行で期待通りの計算が行われません。

図：Excel テンプレート上での定義（セル名と列名が混在する数式設定）

	A	B	C	D	E
1					
2		列1	列2	列3	
3		10	20	=[@列1]+C3	
4		11	21	32	
5		12	22	34	
6					

数式を設定する際には、下図の様にセル名のみ、または列名のみで設定してください。

図：Excel テンプレート上での定義（セル名のみを用いた数式設定）

	A	B	C	D	E
1					
2		列1	列2	列3	
3		10	20	=B3+C3	
4		11	21	32	
5		12	22	34	
6					

図：Excel テンプレート上での定義（列名のみを用いた数式設定）

	A	B	C	D	E
1					
2		列1	列2	列3	
3		10	20	=[@列1]+[@列2]	
4		11	21	32	
5		12	22	34	
6					

- ・集計行などに列全体を対象とした数式を設定する場合、セル名を用いた範囲指定はできません。下図のように、セル名で範囲指定すると、テーブル伸長によって追加された行の値が集計に含まれないため、期待通りの計算が行われません。

図：Excel テンプレート上での定義（セル名を用いた数式設定）

	A	B	C	D	E
1					
2		列1	列2	列3	
3		xxx	xxx	10	
4		xxx	xxx	20	
5		xxx	xxx	30	
6		集計		=SUM(D3:D5)	
7					

数式を設定する際には、下図のようにセル名ではなく列名を用いてください。

図：Excel テンプレート上での定義（列名を用いた数式設定）

	A	B	C	D	E
1					
2		列1	列2	列3	
3		xxx	xxx	10	
4		xxx	xxx	20	
5		xxx	xxx	30	
6		集計		=SUM([列3])	
7					

■複数のテーブル変数を利用する場合の配置

1つのExcel テンプレート上には15個までテーブル変数を使用することができます。ただし、複数のテーブル変数を横に並べて配置することはできません。以下の図のように横に並べて配置した場合には、ランタイムエラーが発生し、Excel ファイルは出力されません。

図：テーブル変数の配置（エラー）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		列1	列2	列3		列1	列2	列3	
3									
4									
5									
6									

■未使用なテーブル変数の削除

テンプレートシート上に定義されたテーブル変数は、マッピングされていない場合、またはテーブル変数にマッピングされた入力データが空の場合、ランタイム出力時に削除されます。その際、削除されたテーブル変数の下に定義されたオブジェクトは上方向にシフトされます。また、テンプレートシートに印刷領域が設定されている場合、削除されたテーブル変数の定義行数に応じて印刷領域のサイズも変更されます。なお、テーブル変数が削除される際、テーブル変数の上下の行は削除されません。

下図はテーブル変数を3個定義し、それぞれのテーブル変数の間隔を1行空けた Excel テンプレートの例です。

図：Excel テンプレート上での定義（テーブル変数の削除）

	A	B	C	D	E	F
1	行①					
2		列1	列2	列3		
3						
4	行②					
5		列1	列2	列3		
6						
7	行③					
8		列1	列2	列3		
9						
10	行④					
11						

ランタイム出力時に一番上と真中に定義された2つのテーブル変数が削除される場合には、下図のように行①、行②、行③の下に3つ目のテーブルが出力されます。

図：Expage ランタイムの出力結果（テーブル変数の削除）

	A	B	C	D	E	F
1	行①					
2	行②					
3	行③					
4		列1	列2	列3		
5		17	18	19		
6		27	28	29		
7		37	38	39		
8	行④					
9						

■テーブル変数内の条件付き書式設定

テーブル変数の定義領域内に条件付き書式を設定した場合、入力データ量に応じたテーブルサイズの伸長に合わせて、条件付き書式の適用先も拡張されます。

図：Excel テンプレート上での定義（テーブル変数内の条件付き書式設定）

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		列1 ▼	列2 ▼	列3 ▼	列4 ▼	列5 ▼	
3		10	10	10	10	10	
4		20	20	20	20	20	
5		30	30	30	30	30	
6		集計				3	
7							
8							

上図ではExcel テンプレート上のテーブル変数内に条件付き書式（「列1」の全ての行にデータバーを表示）を設定しています。入力データ量に応じてテーブルサイズが2行伸長された場合には、下図のように、条件付き書式の適用先も2行拡張して出力されます。

図：Expage ランタイムの出力結果（テーブル変数内の条件付き書式設定）

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		列1 ▼	列2 ▼	列3 ▼	列4 ▼	列5 ▼	
3		10	10	10	10	10	
4		20	20	20	20	20	
5		30	30	30	30	30	
6		40	40	40	40	40	
7		50	50	50	50	50	
8		集計				5	
9							

なお、テーブル伸長に合わせた条件付き書式の適用先の拡張は、Excel テンプレート上でテーブル変数内の全ての行に条件付き書式が設定された場合のみ適用されます。テーブル変数内でも一部の行のみに条件付き書式が設定された場合には、適用されません。

■テーブル変数見出し行の表示形式

テーブル変数に対してデータマップエディタで「先頭行を見出しに使用」を設定した場合、マッピングしたデータの1行目が見出し行に出力されます。その際、Excel テンプレート上で見出し行のセルに設定された数値の表示形式（※）は適用されません。

※数値の表示形式は、「通貨」や「会計」などExcel で数値データに対する表示形式全てを指します。

なお、テーブル変数の見出し行のセルに、文字列に対する表示形式を設定する場合には有効となります。

2-7. 変数定義：シート名

Excel テンプレートのシート名を、入力データから取得した文字列に変更して出力することができます。

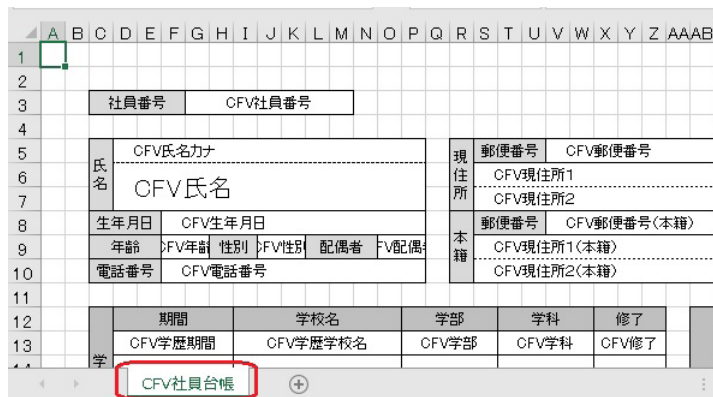
■シート名変数定義

シート名を変数として定義するには、シート名に

CFV 変数名

と設定してください。(固定文字列「CFV」の後に変数名を続けます。)

図：シート名の変数定義例

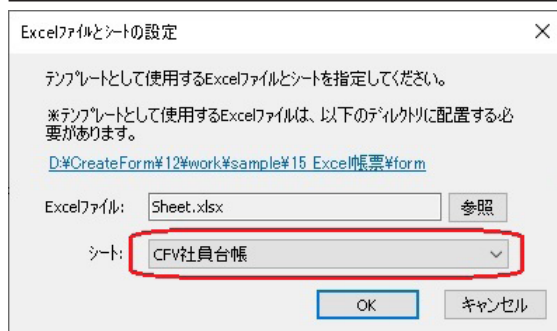


上の図では、「社員台帳」というシート名変数が定義されます。

■シートの選択

ジョブの新規作成時には、「Excel ファイルとシートの設定」ダイアログの [シート] 欄に変数定義されたシート名がそのまま表示されますので、テンプレートとして使用するシートを選択します。

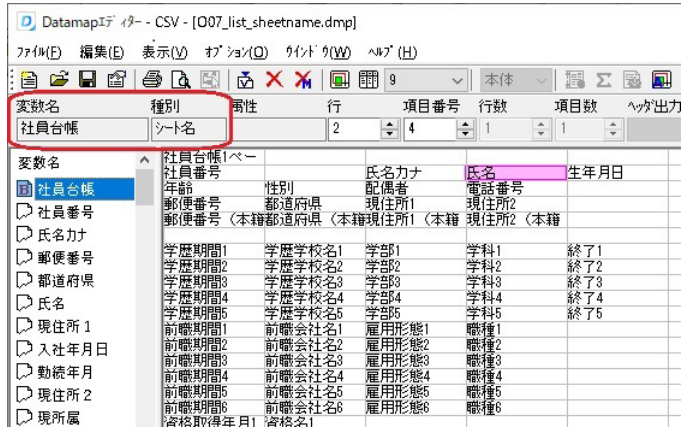
図：「Excel ファイルとシートの設定」ダイアログ (シート名変数使用時)



■マッピング

データマップエディタの[変数名]リスト上には、Excel テンプレート上に定義された他の変数と一緒にシート名変数も表示されますので、利用したい入力データにシート名変数をマッピングします。

図：データマップエディタ（シート名変数）



■ランタイム出力

1 ページ分の入力データを利用して Expage ランタイムを実行すると、下図のように入力データで指定されたシート名で出力されます。

図：出力結果（1 ページ分のデータの場合）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB
1																												
2																												
3																												
4																												
5																												
6																												
7																												
8																												
9																												
10																												
11																												
12																												
13																												
14																												

2 ページ分の入力データを利用した場合、各シートが入力データで指定されたシート名になります。

図：出力結果（2 ページ分のデータの場合）

期間	学校名	学部	学科	修了
2005年4月 ~ 2008年3月	緑山高校		普通科	卒業
2008年4月 ~ 2011年3月	緑山学院大学	法学部	法学科	卒業

また、複数のシートで同じ名前が指定された場合には、2 つ目以降の同名シートの末尾に「(連番)」が付加されます。

図：出力結果（同名の場合）

期間	学校名	学部	学科	修了
2005年4月 ~ 2008年3月	緑山高校		普通科	卒業
2008年4月 ~ 2011年3月	緑山学院大学	法学部	法学科	卒業

なお、シート名変数をマッピングエディタでマッピングしない場合は、Excel テンプレートで定義されたシート名のまま出力されます。

図：出力結果（シート名変数をマッピングしない場合）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB
1																												
2																												
3																												
4																												
5																												
6																												
7																												
8																												
9																												
10																												
11																												
12																												
13																												
14																												

■制限事項

シート名変数に以下の入力データが使用された場合には、Expage ランタイムのエラーとなります。

- ・ 空白
- ・ 32 文字以上
- ・ コロン (:)、円記号 (＼)、スラッシュ (/)、疑問符 (?)、アスタリスク (*)、左角かっこ ([)、右角かっこ (]) のいずれかが含まれる場合

2-8. Excel テンプレートの制限

Excel で設計する帳票テンプレートには、以下の制限があります。

- ・ 1 シート内に定義できる変数の数：999 個まで
- ・ 変数名の文字数：127 文字まで
- ・ 同名変数：同一シート内に同名変数を定義することはできません
- ・ 1 シート内に定義できるテーブル変数の数：15 個まで
- ・ 計算の元データなど、数値として値をマッピングしたい場合は、あらかじめセルの書式設定で数値として設定してください
- ・ 数式を設定する際、他のシートのセルを参照することはできません。
- ・ 数式を設定する際、Excel の「名前の定義」を用いることはできません。
- ・ Excel のカメラ機能により作成した画像や図形を使用する事は出来ません。
- ・ 条件付き書式を設定する際、他のシートのセルを参照することはできません。
- ・ 数式を設定する際、RTD 関数およびキューブ関数を用いることはできません。

3. 帳票種別

3-1. 改ページ

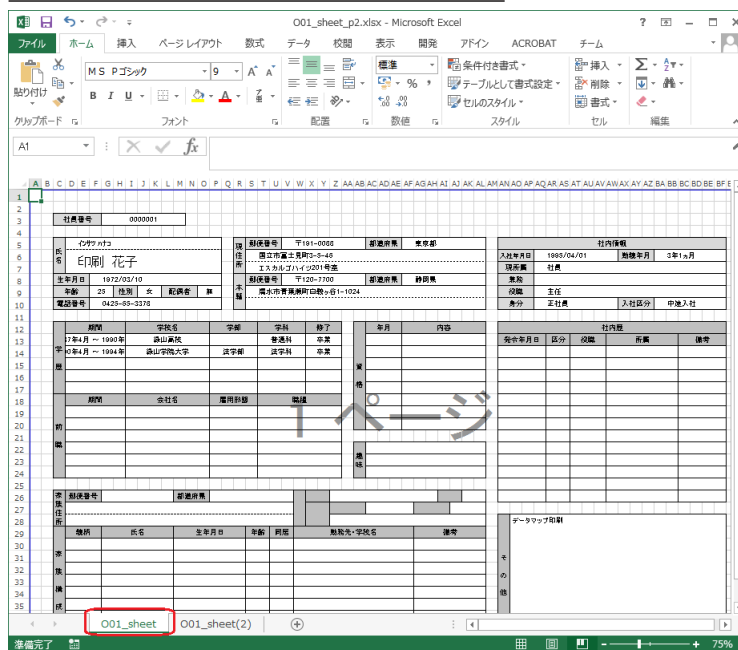
3-1-1. 概要

帳票を出力するとき、1枚のレイアウトから複数のページを出力する改ページ機能があります。

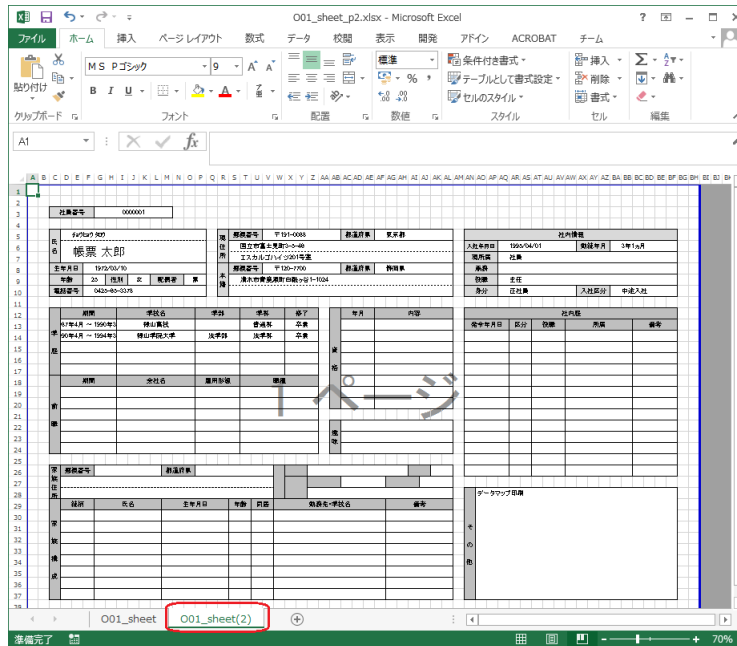
改ページ機能を利用することで、データファイルの内容に応じて複数ページの帳票を出力することができます。

Expage の場合、入力データによって発生した改ページ処理では、新たなシートが追加されます。

図：改ページ処理によるシートの追加（1ページ目）



図：改ページ処理によるシートの追加（2 ページ目）



3-1-2. 改ページの設定方法

入力データソースが CSV 型もしくは TXT 型の帳票の改ページを実現する方法は以下の通りです。

- ・改ページコードによる改ページ
- ・改ページ文字による改ページ
- ・行数による改ページ

上記の設定方法の詳細は、「3.5: 改ページとフォームの切り替え」の「改ページ」をご覧ください。

<< 注意 >>

フォームファイルタイプの資源ファイルの改ページとは異なり、テーブルオブジェクトを使用している可変明細帳票においても、上記の方法で改ページを設定します。

入力データソースが XML 型を使用したときの改ページの設定方法は上記と異なります。XML 型の帳票の改ページ設定については「5. XML での改ページ設定について」を参照して下さい。

入力データソースが DB 型の場合、改ページの設定はできません。

テーブルオブジェクトの「先頭行を見出しに使用」を設定している場合、改ページが発生する度に先頭データが見出しデータとして出力されます。

図：入力データ例

```

見出し1-1,見出し1-2,見出し1-3,見出し1-4,見出し1-5
データ1-1,データ1-2,データ1-3,データ1-4,データ1-5
データ1-1,データ1-2,データ1-3,データ1-4,データ1-5
データ1-1,データ1-2,データ1-3,データ1-4,データ1-5
データ1-1,データ1-2,データ1-3,データ1-4,データ1-5
データ1-1,データ1-2,データ1-3,データ1-4,データ1-5
データ1-1,データ1-2,データ1-3,データ1-4,データ1-5
データ1-1,データ1-2,データ1-3,データ1-4,データ1-5
データ1-1,データ1-2,データ1-3,データ1-4,データ1-5
↑見出し2-1,見出し2-2,見出し2-3,見出し2-4,見出し2-5
データ2-1,データ2-2,データ2-3,データ2-4,データ2-5
データ2-1,データ2-2,データ2-3,データ2-4,データ2-5
データ2-1,データ2-2,データ2-3,データ2-4,データ2-5
データ2-1,データ2-2,データ2-3,データ2-4,データ2-5
データ2-1,データ2-2,データ2-3,データ2-4,データ2-5
データ2-1,データ2-2,データ2-3,データ2-4,データ2-5
データ2-1,データ2-2,データ2-3,データ2-4,データ2-5
データ2-1,データ2-2,データ2-3,データ2-4,データ2-5

```

図：出力結果 (1 ページ目)

見出し1-1	見出し1-2	見出し1-3	見出し1-4	見出し1-5
データ1-1	データ1-2	データ1-3	データ1-4	データ1-5
データ1-1	データ1-2	データ1-3	データ1-4	データ1-5
データ1-1	データ1-2	データ1-3	データ1-4	データ1-5
データ1-1	データ1-2	データ1-3	データ1-4	データ1-5
データ1-1	データ1-2	データ1-3	データ1-4	データ1-5
データ1-1	データ1-2	データ1-3	データ1-4	データ1-5
データ1-1	データ1-2	データ1-3	データ1-4	データ1-5
データ1-1	データ1-2	データ1-3	データ1-4	データ1-5

図：出力結果 (2 ページ目)

見出し2-1	見出し2-2	見出し2-3	見出し2-4	見出し2-5
データ2-1	データ2-2	データ2-3	データ2-4	データ2-5
データ2-1	データ2-2	データ2-3	データ2-4	データ2-5
データ2-1	データ2-2	データ2-3	データ2-4	データ2-5
データ2-1	データ2-2	データ2-3	データ2-4	データ2-5
データ2-1	データ2-2	データ2-3	データ2-4	データ2-5
データ2-1	データ2-2	データ2-3	データ2-4	データ2-5
データ2-1	データ2-2	データ2-3	データ2-4	データ2-5
データ2-1	データ2-2	データ2-3	データ2-4	データ2-5

3-2. マルチフォーム

Expage 用の資源ファイルにおいても、フォームファイルタイプの資源ファイルと同様にマルチフォームを設定することができます。

マルチフォームの詳細は、「3.5: 改ページとフォームの切り替え」の「マルチフォーム」をご覧ください。

なお、Expage の場合、マルチフォームとして設定できるシートは同一 Excel ファイル内に定義されたものに限りません。

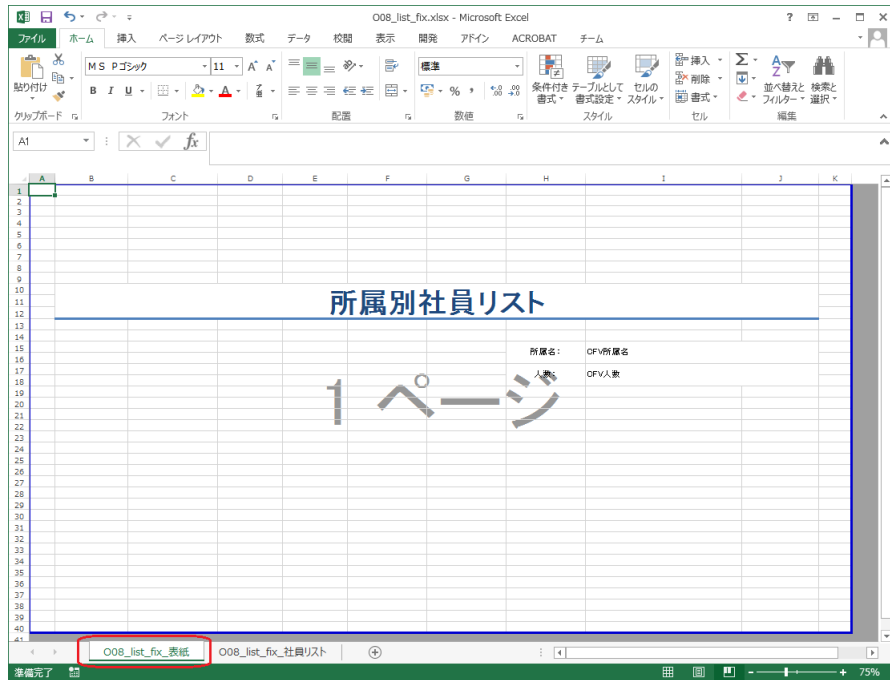
以下に、マルチフォーム（シングルデータ）による Expage 用資源ファイルの作成手順を説明します。

(完成版の資源ファイルは、“帳票資源フォルダー ¥sample¥15_Excel 帳票” に保存されています。)

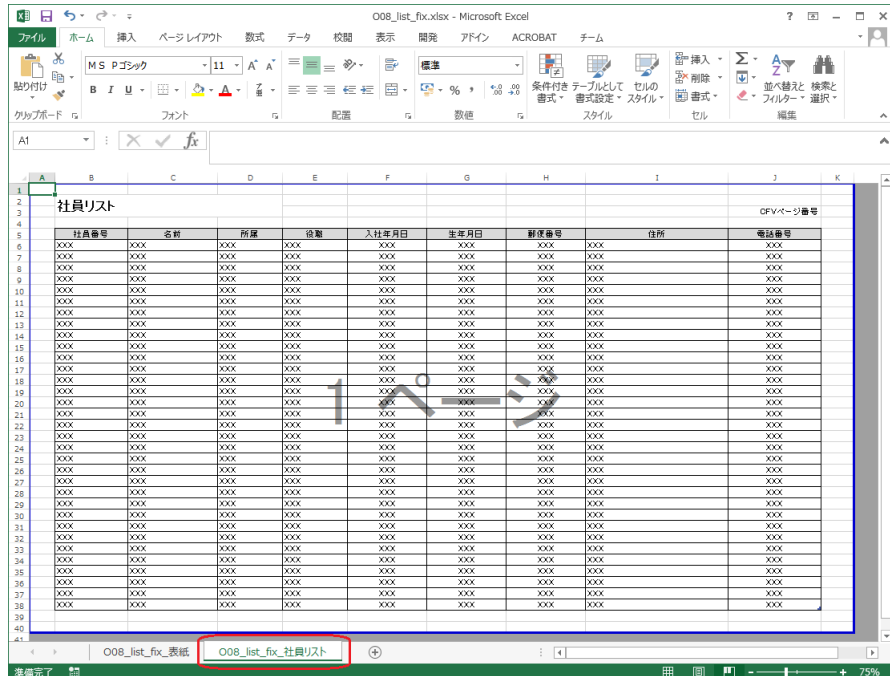
① Excel テンプレートの確認

マルチフォームとして利用する2つのシートを定義した、Excel ファイル“帳票資源フォルダ – ¥tut¥expage¥form¥008_list_fix.xlsx”を Excel テンプレートとして使用します。

図：1つ目のフォームに利用するシート「008_list_fix_表紙」



図：2つ目のフォームに利用するシート「008_list_fix_社員リスト」



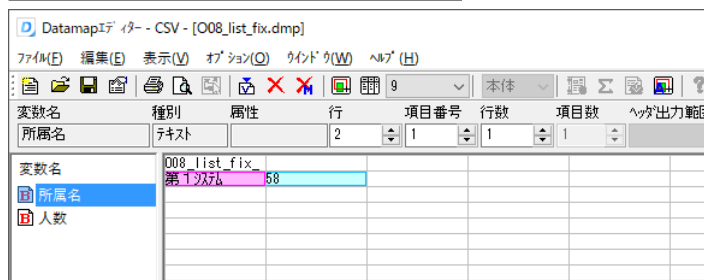
②資源ファイルの新規作成

シングルフォームの帳票と同様に、シート「008_list_fix_表紙」をテンプレートに指定して資源ファイルを作成します。

③1つ目のユニットのマッピング

データファイル 008_list_fix_cover.csv を使用して変数をマッピングします。

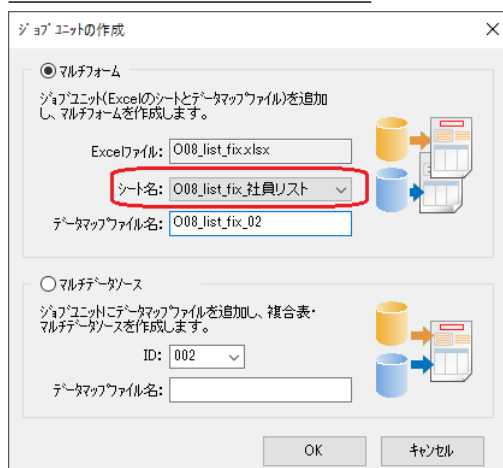
図：シート「008_list_fix_表紙」のマッピング



④ジョブユニットの追加

マネージャーの [ジョブユニット作成] ボタンをクリックします。
[ジョブユニットの作成] ダイアログが起動しますので、[マルチフォーム] を選択し、シート「008_list_fix_社員リスト」を選択します。

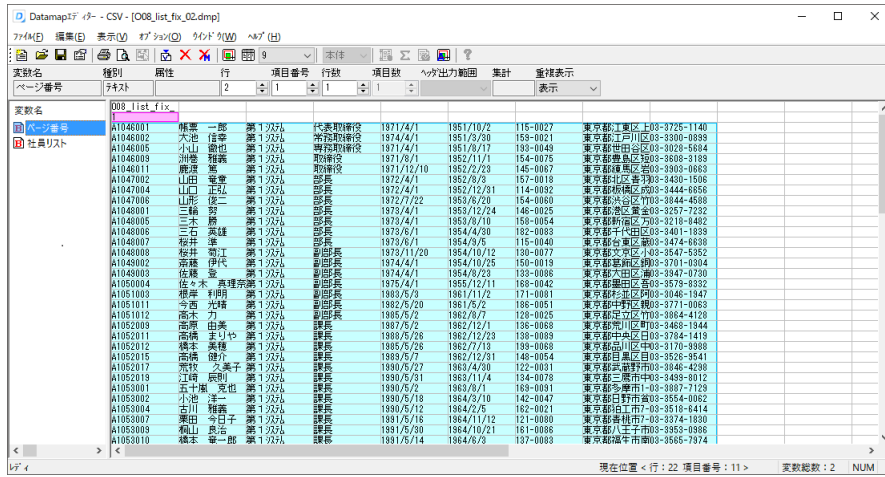
図：ジョブユニットの作成ダイアログ



⑤ 2つ目のユニットのマッピング

データファイル 008_list_fix_member.csv を使用して変数をマッピングします。

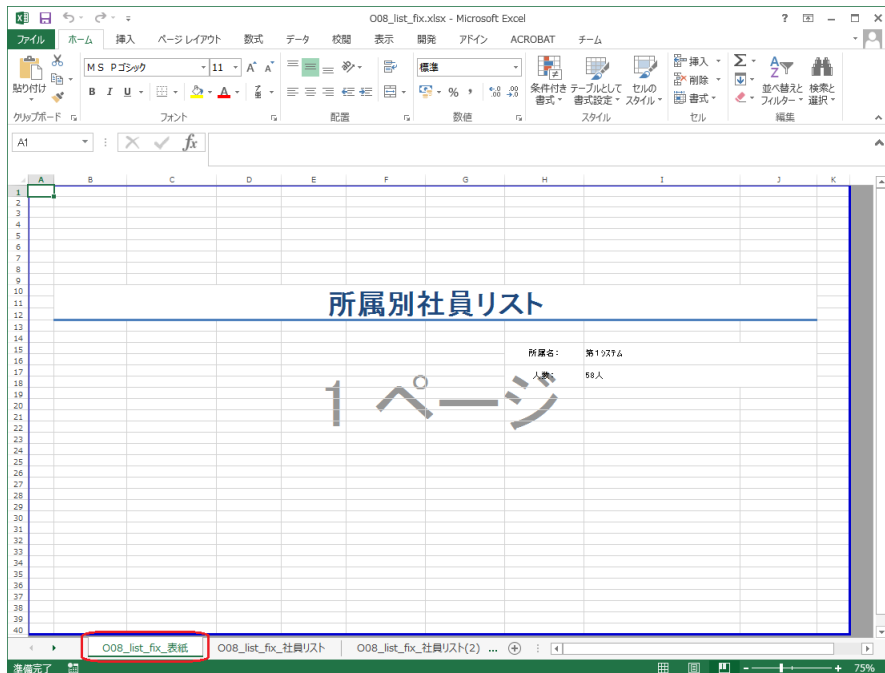
図：シート「008_list_fix_社員リスト」のマッピング



⑥ 実行確認

データファイル 008_list_fix.csv を選択して、ランタイム実行ダイアログを起動します。[実行ランタイム]の[Expage]を選択して、[プレビュー]ボタンをクリックすると、入力データ 3 ページ分 (3 つのシート) を含んだ Excel ファイルが出力されます。

図：出力結果 (1 シート目)



図：出力結果 (2 シート目)

社員番号	名前	所属	職階	入社年月日	生年月日	郵便番号	住所	電話番号
A1040001	橋本 一郎	第12226	代表取締役	1971/4/1	1951/10/2	115-0027	東京都江東区上野2-3-48	03-3725-1140
A1040002	北条 信幸	第12226	取締役	1974/4/1	1981/2/20	193-0021	東京都江戸川区松本-12-7	03-3300-0939
A1040005	川口 隆中	第12226	取締役	1971/4/1	1981/9/17	192-0049	東京都世田谷区松平4-6-29-12	03-3509-5684
A1040008	森本 雅典	第12226	取締役	1971/8/1	1952/11/1	184-0075	東京都豊島区祝町8-6-34	03-3608-2189
A1040011	山本 隆夫	第12226	取締役	1971/12/10	1992/2/23	145-0087	東京都豊島区音神井8-3-26	03-3903-0663
A1040020	山本 幸夫	第12226	役員	1973/4/1	1955/9/23	197-0018	東京都北区目黒1-10-31	03-3420-1506
A1040004	山本 正弘	第12226	部長	1972/4/1	1952/12/31	114-0032	東京都板橋区成基-13-10	03-3444-6656
A1040006	山本 重二	第12226	部長	1972/7/22	1983/6/20	184-0060	東京都渋谷区神宮寺-28-61	03-3844-4889
A1040021	三宅 隆雄	第12226	部長	1973/4/1	1952/12/24	145-0025	東京都港区赤坂3-13-29	03-3357-7233
A1040005	三宅 隆	第12226	部長	1973/4/1	1953/8/10	198-0054	東京都豊島区方町-25-46	03-3218-1482
A1040006	三宅 隆雄	第12226	部長	1973/6/1	1954/4/30	182-0083	東京都千代田区稲川8-30-43	03-3401-1839
A1040007	三宅 隆雄	第12226	部長	1973/6/1	1954/9/25	115-0040	東京都豊島区長崎 17-4-70	03-3474-6620
A1040008	三宅 隆雄	第12226	部長	1972/11/20	1954/10/25	120-0077	東京都文京区目黒14-18-77	03-3849-8262
A1040002	三宅 隆雄	第12226	部長	1974/4/1	1954/10/25	150-0019	東京都豊島区西町8-10-59	03-3701-0304
A1040003	三宅 隆雄	第12226	部長	1974/4/1	1954/10/25	123-0016	東京都大田区奥田7-23-99	03-3947-0730
A1050004	伊藤 幸夫	第12226	取締役	1972/4/1	1955/11/11	146-0002	東京都豊島区長崎1-11-46	03-3728-3232
A1050000	伊藤 幸夫	第12226	取締役	1983/5/23	1981/11/2	171-0081	東京都杉並区真体倉8-17-11	03-3046-1947
A1050011	伊藤 幸夫	第12226	取締役	1982/5/20	1981/5/2	185-0051	東京都中野区長井4-4-35	03-3771-0062
A1050010	伊藤 幸夫	第12226	取締役	1985/5/2	1985/9/7	129-0025	東京都足立区田原1-6-95	03-3564-4128
A1050008	伊藤 幸夫	第12226	取締役	1987/5/2	1982/12/1	136-0069	東京都豊島区西町3-2-21	03-3468-1944
A1050011	伊藤 幸夫	第12226	取締役	1988/5/26	1982/12/23	138-0089	東京都中央区品川1-12-90	03-3784-1413
A1050012	伊藤 幸夫	第12226	取締役	1985/5/26	1982/7/13	193-0058	東京都品川区中野4-6-68	03-3170-9888
A1050015	伊藤 幸夫	第12226	取締役	1985/5/27	1982/12/31	148-0054	東京都目黒区日吉東3-7-9	03-3526-9541
A1050017	伊藤 幸夫	第12226	取締役	1980/5/27	1983/4/20	122-0021	東京都武蔵野市西武蔵1-31-18	03-3846-4288
A1050019	伊藤 幸夫	第12226	取締役	1980/5/21	1983/11/14	134-0018	東京都三軒市南町2-29-81	03-3489-8012
A1050001	伊藤 幸夫	第12226	取締役	1980/5/2	1983/9/1	169-0011	東京都小平市1-11-46	03-3897-7120
A1050002	伊藤 幸夫	第12226	取締役	1980/5/18	1984/3/10	142-0047	東京都野市南国2-31-10	03-3854-0002
A1050004	伊藤 幸夫	第12226	取締役	1980/5/12	1984/2/25	162-0021	東京都江東区新大塚1-3-43	03-3818-6414
A1050007	伊藤 幸夫	第12226	取締役	1981/5/16	1984/11/10	171-0009	東京都東村山7-17-18	03-3274-1820
A1050008	伊藤 幸夫	第12226	取締役	1981/5/30	1984/10/21	161-0086	東京都八王子市小和町8-16-40	03-3953-0886
A1050010	伊藤 幸夫	第12226	取締役	1981/5/14	1984/6/23	127-0093	東京都瑞穂市南田原1-25-62	03-3655-7974
A1050011	伊藤 幸夫	第12226	取締役	1983/5/26	1985/11/1	141-0074	東京都杉並区長崎1-11-46	03-3655-0186
A1050012	伊藤 幸夫	第12226	取締役	1982/5/14	1971/10/5	132-0046	東京都中野区中野2-28-22	03-3643-2790

図：出力結果 (3 シート目)

社員番号	名前	所属	職階	入社年月日	生年月日	郵便番号	住所	電話番号
A1050000	宮崎 信昌	第12226	部長	1982/5/19	1971/3/20	120-0050	東京都渋谷区宮前3-21-5	03-3113-8011
A1050005	橋本 信	第12226	部長	1980/5/19	1971/3/17	119-0066	東京都東区東7-22-15	03-3170-9212
A1050007	三宅 隆雄	第12226	部長	1981/5/26	1972/12/21	175-0025	東京都足立区東本町2-43	03-3465-4127
A1050010	宮田 明宏	第12226	部長	1981/5/2	1972/2/29	180-0031	東京都秋川市宮田3600	03-3066-2000
A1050011	宮田 明宏	第12226	部長	1983/5/26	1972/1/14	133-0012	東京都小平市8-7-6	03-3360-4566
A1050012	宮田 明宏	第12226	部長	1983/5/10	1972/8/21	164-0034	東京都瑞穂区1-6-23	03-3823-8996
A1050001	宮田 明宏	第12226	部長	1983/5/28	1972/6/25	146-0003	東京都目黒区青木山33	03-3184-8986
A1050003	宮田 明宏	第12226	部長	1983/5/11	1973/5/4	128-0029	東京都江東区西船場3-15-46	03-3678-8768
A1050004	宮田 明宏	第12226	部長	1983/5/13	1972/11/1	149-0041	東京都江川区松本3-3-25	03-3865-3908
A1050006	宮田 明宏	第12226	部長	1980/5/20	1974/4/19	147-0009	東京都世田谷区松平4-6-24	03-3222-6017
A1050007	宮田 明宏	第12226	部長	1988/5/22	1974/4/15	111-0077	東京都豊島区中野7-1-30	03-3926-1486
A1050008	宮田 明宏	第12226	部長	1988/5/12	1974/12/12	120-0051	東京都豊島区音神井7-13-40	03-3948-1126
A1050009	宮田 明宏	第12226	部長	1988/5/24	1974/10/28	145-0066	東京都北区目黒1-10-51	03-3205-1691
A1050011	加藤 孝典	第12226	部長	1988/5/16	1974/8/23	196-0034	東京都板橋区成基4-4-34	03-3187-1423
A1050014	加藤 孝典	第12226	部長	1988/5/16	1974/8/23	165-0047	東京都渋谷区神宮寺1-27-17	03-3230-9567
A1050005	加藤 孝典	第12226	部長	1988/5/29	1975/10/21	197-0040	東京都港区赤坂5-13-40	03-3588-0189
A1050006	加藤 孝典	第12226	部長	1988/5/23	1975/3/20	182-0047	東京都豊島区平町1-23-22	03-3136-9359
A1050008	加藤 孝典	第12226	部長	1988/5/28	1976/8/27	125-0028	東京都千代田区稲田18-28-6	03-3442-7337
A1050010	加藤 孝典	第12226	部長	1988/5/30	1976/1/1	171-0018	東京都豊島区長崎1-24-40	03-3086-1587
A1050012	加藤 孝典	第12226	部長	1988/5/20	1976/12/22	127-0029	東京都文京区目黒14-14-76	03-3839-8266
A1050013	加藤 孝典	第12226	部長	1988/5/26	1977/3/23	188-0013	東京都豊島区西町4-7-23	03-3276-4830
A1050014	加藤 孝典	第12226	部長	1988/5/10	1978/8/23	115-0055	東京都大田区雑司1-26-20	03-3836-0084
A1050015	加藤 孝典	第12226	部長	1989/4/25	1978/2/20	148-0094	東京都豊島区長崎14-12-13	03-3701-0662
A1050011	伊藤 幸夫	第12226	社員	1988/5/24	1978/1/24	188-0023	東京都杉並区真体倉8-11-10	03-3811-7379
A1050000	伊藤 幸夫	第12226	社員	1988/5/21	1979/3/20	166-0011	東京都中野区長井4-4-35	03-3518-7195
A1050004	伊藤 幸夫	第12226	社員	1988/5/16	1980/4/11	166-0060	東京都足立区田原12-16-29	03-3100-1026

3-3. マルチデータソース

Excel テンプレートの1シートに対して、複数のデータソースから取得したデータを出力することができます。

マルチデータソースの設定方法はフォームファイルタイプの資源ファイル作成と同じです。詳細は「3.5: 改ページとフォームの切り替え」の「マルチデータソース」をご覧ください。

4. Excel プロパティ設定

4-1. 概要

Expage ランタイムでは、Excel ファイルのプロパティに任意の文字列を設定することができます。Excel ファイルのプロパティは、[ファイル]-[情報]-[プロパティ]-[詳細プロパティ] から確認できます。

設定できるプロパティは以下のプロパティです。

- ・タイトル
- ・サブタイトル
- ・作成者
- ・管理者
- ・会社名

図：Excel ファイル [詳細プロパティ] 画面

YYYYMMDD_expage.xlsx プロパティ

ファイルの情報 ファイルの概要 詳細情報 ファイルの構成 ユーザー設定

タイトル(I): Excel出力

サブタイトル(S): プロパティ設定

作成者(A): Aグループ

管理者(M): 帳票 太郎

会社名(Q): インフォテック株式会社

分類(E):

キーワード(K):

コメント(C):

ハイパーリンクの基点(H):

テンプレート:

すべての Excel ドキュメントの縮小版を保存する(V)

OK キャンセル

4-2. 設定方法

Excel プロパティを設定する手順は以下となります。

1. マネージャーを起動します。
2. プレビューモードでジョブを選択し、右クリックメニューの [ジョブプロパティ] をクリックします。
3. ジョブプロパティダイアログの [概要] タブをクリックします。
4. 各テキストボックスに Excel プロパティに設定する文字列を入力します。
5. [OK] ボタンをクリックし、ジョブプロパティダイアログを閉じます。

図： [概要] 画面

<< 注意 >>

タイトルの初期値にはジョブを作成した時の「帳票名」の値が設定されます。

[概要] タブの各テキストボックスに値が設定されていない場合、出力ファイルには Excel テンプレートのプロパティ値が設定されます。

Create!Form 12

Excel 出力設定 第4版

発行日	2023年10月
発行者	インフォテック株式会社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25